

【やまなし森林整備・林業成長産業化推進プラン】進捗状況について（令和元年度末 プラン1年目）

| 施策 | 項目 | 指標 | 基準値 (H30) | 目標値 (R11) | R1年度進捗状況 | | | ※1 達成状況 (目標の達成) | 進捗状況や効果等に係るコメント | 今後の対応 | 担当課 |
|-------------------------|--------------------|----------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|-----------------------|--|---|-------|
| | | | | | 年度目標 A | 実績値 B | 進捗 (%) (B/A)×100 | | | | |
| 森林の 公益的 機能の 強化 | 1 森林整備の推進 森林の保全 | ①森林整備の実施面積（年間） | 6,124ha/年 | 7,300ha/年 | 6,193ha/年 | 6,248ha/年 | 101% | 達成 | 県内全域において、木材生産機能や水源かん養機能等、森林の多面的機能を維持・増進するための森林整備を計画とおりの進捗となった。 | 森林環境税事業の第2期計画の着実な実施や、新たな森林経営管理制度による市町村の森林整備への支援などにより、引き続き、関係者と連携して、森林整備を推進していく。 | 森林整備課 |
| | 2 治山施設等の整備 | ②山地災害危険地区対策地区数（累計） | 2,322地区 | 2,487地区 | 2,337地区 | 2,338地区 | 100% | 達成 | 16地区の山地災害危険地区について新たに着手し、R1年度末時点で累計2,338地区となり、計画とおりの進捗となった。 | 山地災害の防災・減災に向け、年間15地区を目標に、地域の安全・安心の確保のため対策を推進する。 | 治山林道課 |
| | | ③長寿命化対策済の施設数（累計） | 232箇所 | 388箇所 | 250箇所 | 257箇所 | 103% | 達成 | 25箇所の治山林道施設について長寿命化を図り、R1年度末時点で累計257箇所となり、計画とおりの進捗となった。 | 個別施設計画に基づき、集落周辺の治山施設や林道の橋梁・トンネルなどの長寿命化を計画的に実施する。 | 治山林道課 |
| | 3 森林空間の利活用 | ④森林公園、森林文化の森、清里の森の利用者数（年間） | 713千人/年 | 917千人/年 | 732千人/年 | 642千人/年 | 88% | 未達成 | 夏から秋にかけて利用者が一番多い時期の天候不順や台風19号（10月）に伴う鉄道・高速道路の不通等の影響に加え、2月下旬以降の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響等により、利用者数が減少した。 | 武田の杜での森林セラピープログラム料金の一部助成による誘客促進、「清里の森」の施設リニューアル、「金川の森」の森林セラピー基地整備等の取り組みにより利用者の増加を図る。 | 県有林課 |
| 林業の 成長 産業化の 推進 | 4 県産材供給体制の強化 | ⑤木材生産量（年間） | 201千m ³ /年 | 335千m ³ /年 | 219千m ³ /年 | 223千m ³ /年 | 102% | 達成 | 大型合板工場の供用開始により、主に合板用素材生産量が増加し、計画とおりの進捗となった。 | 森林資源が充実している地域への重点的な路網の整備や、高性能林業機械の導入支援などにより、低コストで効率的な木材生産を進め、県産木材の安定供給を進めていく。 | 林業振興課 |
| | | ⑥製材用途の木材生産量（年間） | 24千m ³ /年 | 77千m ³ /年 | 26千m ³ /年 | 30千m ³ /年 | 115% | 達成 | やまびこ支援学校、韮崎市中田屋内運動場等の公共建築物の木造化が進んだことから、計画を上回る進捗となった。 | 製材工場のJAS認証取得への支援をするなど付加価値の高い製材品の供給や、建築用材の利用促進に向けてサプライチェーン強化を図る。 | 林業振興課 |
| | 5 県産材需要拡大の推進 | ⑦木材製品出荷量（年間） | 15千m ³ /年 | 98千m ³ /年 | 25千m ³ /年 | 27千m ³ /年 | 108% | 達成 | 大型合板工場の供用開始により、計画を上回る進捗となった。 | 「Yamanashi ウッド・チェンジ・ネットワーク」を中心に民間建築物の木造・木質化に取り組むとともに、FSC認証材のブランド化や木材利用の普及啓発等により県産材の需要拡大につなげていく。 | 林業振興課 |
| | 6 林内路網整備の推進 | ⑧林内路網の整備延長（累計） | 4,598km | 5,093km | 4,643km | 4,645km | 100% | 達成 | 47kmの林道、森林作業道を整備し、R1年度末時点で累計4,645kmとなり、計画とおりの進捗となった。 | 林内路網整備計画に基づき林内路網の整備を推進する。 | 治山林道課 |
| | 7 木質バイオマスの利活用の推進 | ⑨木質バイオマス燃料用木材供給量（年間） | 38千m ³ /年 | 122千m ³ /年 | 56千m ³ /年 | 67千m ³ /年 | 120% | 達成 | 木質バイオマス発電所での燃料使用量増加や木質バイオマス利用施設の増加などにより、計画を上回る進捗となった。 | 現地でチップに加工する移動式チップー導入への支援などにより、未利用間伐材を余すことなく使い尽くすカスケード（多段階）利用の促進を図り、利用施設への木質バイオマスの供給拡大を図る。 | 林業振興課 |
| | 8 林業の担い手の確保・育成 | ⑩林業の新規就業者数（年間） | 41人/年 | 57人/年 | 43人/年 | 39人/年 | 91% | 未達成 | 林業への就業希望者を対象にした「森林の仕事ガイド」を毎年実施しており、昨年度は64人の参加者があったものの、県内全体の有効求人倍率が高い水準にあるなか就業に結びついていない結果となった。 | 「森林の仕事ガイド」への出展回数を増やすとともに、森林・林業体験ツアーなどにより就業者の確保に向けて引き続き取り組む。 また、令和4年度の開講に向け、農業大学校に林業に関する新学科を設置し、担い手の確保・育成に取り組む。 | 林業振興課 |
| | 9 特産林産物の産地化の推進 | ⑪クロアワビタケの生産量（年間） | 0.32 t/年 | 7.00 t/年 | 1.20 t/年 | 0.92 t/年 | 77% | 未達成 | 需要面では、道の駅での販売や旅館での食材としての利用が進んでおり、R1年度の実績は前年度の約3倍に増加したが、夏期の高湿・少雨等の影響などにより目標とした収量に達しなかった。 | 引き続き、各種イベント等でのPRや販路開拓を進めることにより、新たな特産品としてのブランド力の向上を図り需要拡大につなげていく。 また、生産量の増加に向け、新規生産者の参入促進や生産技術の改善に取り組んでいく。 | 林業振興課 |

※1 達成状況（目標の達成）は、100%以上が「達成」、100%未満を「未達成」に評価。